2024年5月13日

2024年3月期
決算説明

株式会社アール・エス・シー
（東証スタンダード 4664）

アジェンダ

01 2024年3月期決算の概要

02 2025年3月期の業績見通しと株主還元

03 中期経営計画の概要と進捗

04 サステナビリティ経営の概要

アジェンダ

01 2024年3月期決算の概要

02 2024年3月期の業績見通しと株主還元

03 中期経営計画の概要と進捗

04 サステナビリティ経営の概要

2024年3月期 連結業績ハイライト

01 前年同期比

【売上高】
＋34.3%

【営業利益】
＋48.5%

建設工事や設備部門などが好調に推移
（友和商工（株）のP/Lが当期より連結対象）

02 期初予想比

【業績予想修正】
10月、11月の2回修正

10月26日　上期業績の上振れに伴う上方修正
11月21日　投資有価証券売却益の計上に伴う修正

03 増配

【中間配当金】
＋2円

【期末配当金】
＋3円

中間配当前期比２円、期末配当前期比３円の増配
年間配当は１株当たり２０円を予定

04 コーポレートガバナンス・コードの推進

【流通株式の増加】
政策保有株式の一部解消

2023年11月21日　立会外分売により売却

連結 損益計算書

◎子会社友和商工を含む設備工事部門の好調により大幅な増収増益を実現

損益計算書

単位：百万円

	23/3期		24/3期		前年同期比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	6,028		8,097		+2,069	+34.3%
売上原価	4,925	81.7%	6,616	81.7%	+1,692	+34.4%
売上総利益	1,103	18.3%	1,481	18.3%	+377	+34.2%
販売管理費	912	15.1%	1,197	14.8%	+285	+31.2%
営業利益	191	3.2%	284	3.5%	+93	+48.5%
経常利益	198	3.3%	300	3.7%	+102	+51.2%
当期利益	128	2.1%	245	3.0%	+117	+91.4%

セグメント別　売上高／売上総利益

単位：百万円

	23/3期	24/3期	増減
売上高	6,028	8,097	+2,069
建物総合サービス	5,001	7,179	+2,178
人材サービス	1,027	918	△109

	23/3期	24/3期	増減
売上総利益	1,103	1,481	+377
建物総合サービス	970	1,373	+403
人材サービス	133	108	△25

【総合建物サービス】

＜警備部門＞
東宝日比谷プロムナードビルの警備業務開始、順調に推移

＜清掃部門＞
名古屋エリア複合施設の清掃フロア（オフィスエリア）の拡大
埼玉エリア複合施設（オフィス・商業エリア）の清掃開始
新規顧客埼玉エリアの巡回清掃業務拡大
大阪、名古屋エリアの巡回清掃業務拡大

＜設備･工事部門＞
サンシャインシティにおける店舗改装に伴うシャッター更新工事実施
大型家電量販店の昇降機設備等のリニューアル作業を多数実施
友和商工におけるオフィスビルの入退去やレイアウト変更に伴う工事が増加

【人材サービス】

アミューズメント施設の案内誘導業務、施設駐車場の管理業務の増加
感染症ワクチン接種会場の案内業務の終了

連結 貸借対照表

貸借対照表

単位：百万円

	23/3期	24/3期	増　減	主な増減要因
現金・預金	1,689	1,934	+245	売掛債権の回収、投資有価証券の売却
受取手形及び売掛金	1,031	925	△106	
その他の資産	1,532	1,342	△190	投資有価証券△90、のれん△30
資産合計	4,251	4,201	△50	
買掛金	445	360	△85	期末工事の外注費支払いによる減少
短期・長期借入金	553	447	△106	借入金の返済
その他の負債	1,355	1,273	△82	
負債合計	2,353	2,144	△209	
資本金	302	302	－	
資本剰余金	243	245	+2	
利益剰余金	1,257	1,452	+195	
自己株式	△22	△13	+9	譲渡制限付株式報酬の支払い
その他の純資産	118	71	△47	有価証券評価差額金
純資産合計	1,899	2,057	+158	
負債・純資産合計	4,251	4,201	△50	

※２０２３年３月期より友和商工の貸借対照表を連結

キャッシュフロー計算書

	23/3期	24/3期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	251	325	税金等調整前当期純利益の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	43	投資有価証券の売却
財務活動によるキャッシュ・フロー	152	△157	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	1,241	1,452	

アジェンダ

01 2024年3月期決算の概要

02 **2025年3月期の業績見通しと株主還元**

03 中期経営計画の概要と進捗

04 サステナビリティ経営の概要

2025年3月期の連結業績予想

2024/3月期の臨時業務受注が好調であった子会社の工事業務の反動、官公庁大型長期案件の契約満了等による売上高約10億円の減少に対し、新たな大型イベント業務およびホテル警備の新規受注等により減少した売上高をカバーする見込みです。一方、利益においては成長投資として約1億円の人的投資を行うことにより減益を見込んでおります。

単位：百万円

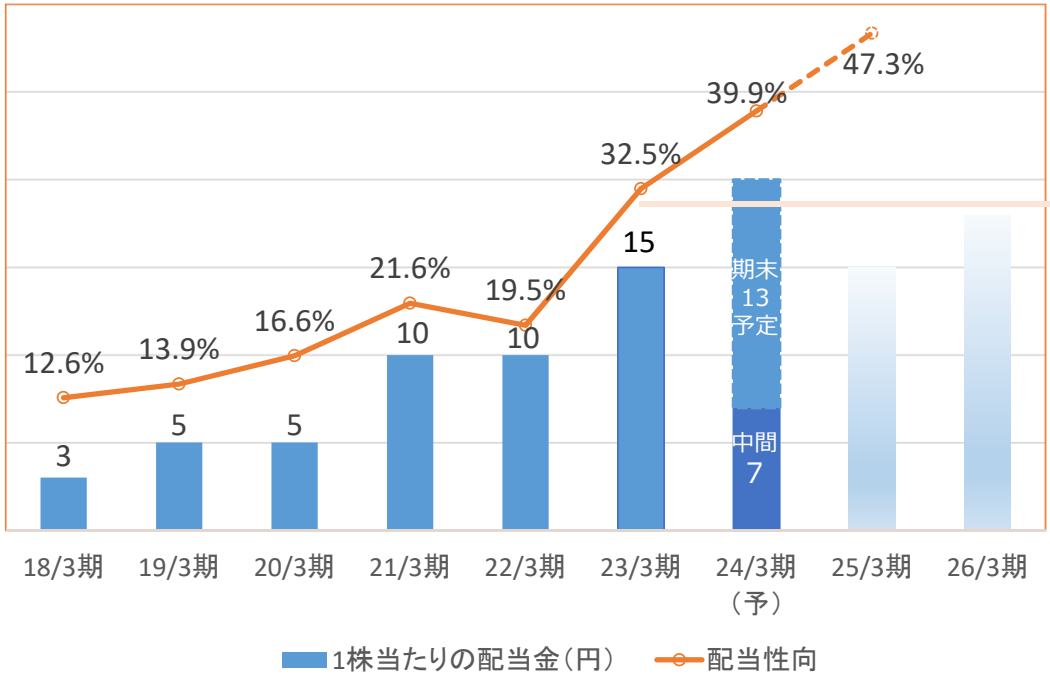
	2024／３期実績	2025／３期予想	前年実績比
（連結）売上高	8,097	8,103	+6
営業利益	284	152	△132
経常利益	300	152	△148
当期純利益	245	79	△166
（個別）売上高	5,701	6,225	+524
経常利益	146	139	△7
当期純利益	146	93	△53
配当額（1株当たり）	20円（見込）※	15円（見込）	–

※　2024/3期は連結業績予想の上方修正により、中間配当を２円、期末配当を3円、計5円の増配見込

株主還元方針と配当予想

2024年3月期の中間配当は期初予想を2円増額修正し、1株当たり7円の配当実施
加えて期末配当を期初予想から3円増額修正をし、年間配当では前期比5円増配となる1株当たり２０円を予定

［配当実績と今後の配当イメージ］



配当性向30%ライン

単体の配当性向の目安を20%以上から
30%以上に変更（2024年3月期より）

※　配当性向は期中平均株式数による個別の配当性向見込

アジェンダ

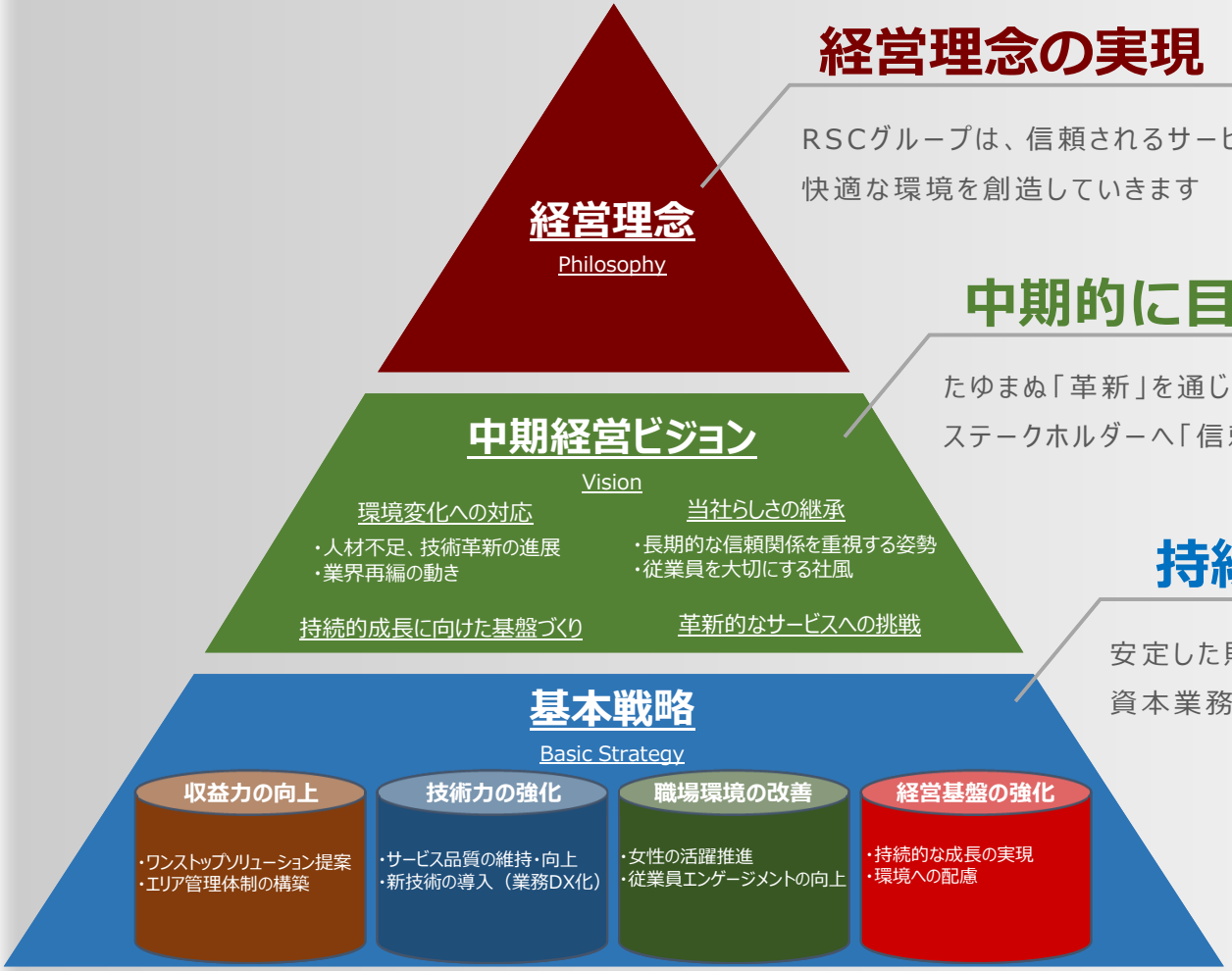
01 2024年3月期決算の概要

02 2025年3月期の業績見通しと株主還元

03 **中期経営計画の概要と進捗**

04 サステナビリティ経営の概要

中期経営ビジョン（2021年3月期～2026年3月期）



経営理念の実現

RSCグループは、信頼されるサービスを提供し、人が生活するあらゆる場面において、常に安全・安心・快適な環境を創造していきます

中期的に目指す姿

たゆまぬ「革新」を通じて、お客さま、従業員、株主さま、そして地域社会の皆さま、すべてのステークホルダーへ「信頼」を礎に、「安全」と「満足」を提供するプロフェッショナル集団

持続的な成長の基盤づくり

安定した財務基盤を活用し、人材確保、展開エリアの拡大、新技術の獲得、資本業務提携、M＆A等を目的とした投資に前向きに取り組む

当社の強みとするビジネスモデル

大規模複合施設であるサンシャインシティモデルを軸に
総合的な提案力を活かしたワンストップソリューションを提供

顧客の利便性を高め、差別化を図るとともに、施設当たりの収益性向上を目指す。
また、新技術の提案を促進する。

警備保障

設備・工事

イベント運営・警備

オフィステナントへの
人材派遣

セキュリティロボット
による巡回備警

受付
（インフォメーション）

New
AI警備システムに
よるカメラ監視業務

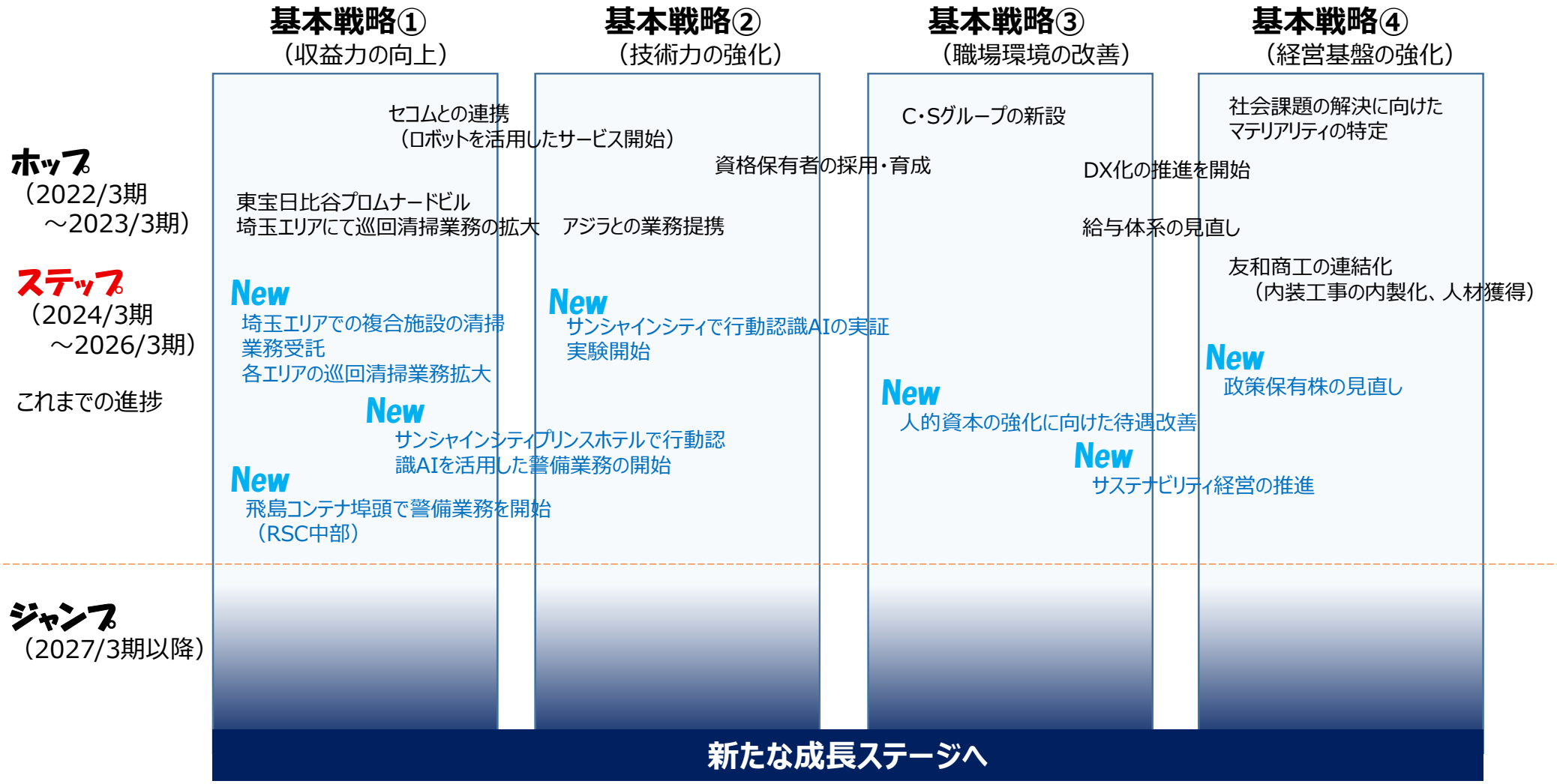
清掃

数値目標

25/3期において売上高は新規事業所の開始や大型イベント業務の受注により、過去最高売上高の24/３期を上回る８１億円を見込み、利益においては成長投資として約1億円の人的投資を行うことにより25/3期は減益を見込んでおります。
本中期経営計画の連結売上高目標である７５億円については既に達成しておりますが、最終年度の目標達成に向けて特に利益率の改善に尽力してまいります。

	【実績】				【予算】	【計画】	
【損益計画】	21/3期 (基準期)	22/3期 (1年目)	23/3期 (2年目)	24/3期 (3年目)	25/3期 (4年目)	26/3期 (5年目)	増減 (21/3期 比)
連結売上高	5,935	5,742	6,027	8,097	8,103	7,500	+1,565
売上総利益	1,070	1,092	1,103	1,450	1,414	1,500	+430
売上総利益率	18.0%	19.0%	18.3%	18.0%	17.4%	20.0%	+2.0 pp
営業利益	202	216	191	284	152	300	+98
営業利益率	3.4%	3.8%	3.2%	3.5%	1.9%	4.0%	+0.6 pp
経常利益	218	243	198	300	152	310	+92
経常利益率	3.7%	4.2%	3.3%	3.7%	1.9%	4.1%	+0.4 pp
当期純利益	147	164	127	245	79	217	+70
当期純利益率	2.5%	2.9%	2.1%	3.0%	1.0%	2.9%	+0.4 pp

中期経営計画（基本戦略）の全体像と進捗



2025年3月期の取り組み①

基本戦略①　収益力の向上

- **2025年4月開催予定の大阪・関西万博への対応準備**
  - ・大阪支店を中心に警備業務、派遣業務の受注に向けた営業活動
- **大型イベントの受注**
  - ・大型イベントの運営、ブース施工業務の受注に向けた活動
- **清掃業務の拡大**
  - ・巡回清掃のエリア拡大（埼玉、名古屋、大阪エリア）

基本戦略②　技術力の強化

- **ＡＩ警備システム『AI Security asilla』の活用**
  - ・サンシャインシティ内での本稼働に向けた実証実験
  - ・サンシャインシティプリンスホテルにて本稼働
- **警備ロボットcocoboの活用拡大**
  - ・サンシャインシティ内での巡回エリアの拡大
- **各業務におけるDX化**
  - ・業務DX化プロジェクトにて推進

2025年3月期の取り組み②

基本戦略③　職場環境の改善

●人的資本経営の推進

- 従業員の待遇改善
- 自社研修所における独自教育と外部教育の活用
- 資格取得のサポート
- 女性従業員の職域拡大

基本戦略④　経営基盤の強化

●グループ会社とのシナジー創出

- 友和商工との内装工事業務におけるクロスセル
- RSC中部との連携による中部エリアの開拓

●M&A・アライアンス戦略の推進

- 警備DXを実現するアライアンス戦略
- 清掃事業の体制強化

●サステナビリティ経営の推進（詳細18・19ページ）

トピックス　新技術の導入（警備業務DX化）

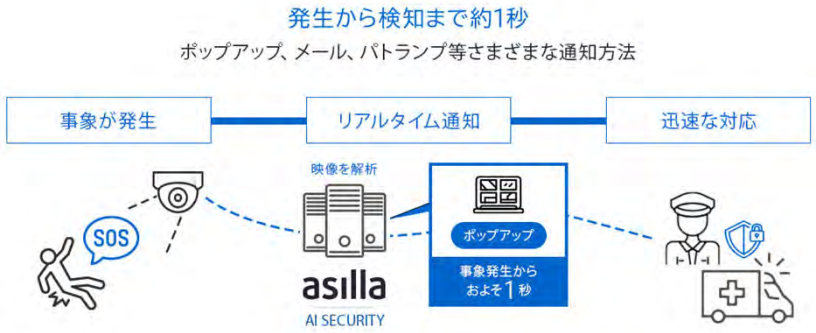
New『サンシャインシティプリンスホテル』でＡＩ警備システムを活用した警備業務を開始

～　ホテル業界への新たな警備サービスの提案　～

サンシャインシティプリンスホテルは、当社が警備する池袋のランドマークである「サンシャインシティ」と一体となった施設であり、観光客を中心に不特定多数の人々が出入りする中、常に安心・安全に利用できる環境作りを推進しております。
当社として改めてホテル業界の警備に参入するものであり、サンシャインシティプリンスホテルの警備におきましては、昨年８月16日に業務提携をいたしました株式会社アジラの開発する、行動認識技術を基にしたＡＩ警備システム『AI Security asilla』と人的な警備を組み合わせた新たなサービスを提供し、警備体制を強化してまいります。
※『AI Security asilla』のホテル業界への本格導入は初めてとなります。

■AI Security asilla（アジラ）

①実証実験の運用イメージ



※「アジラ」の名称は、日本国およびその他各国において株式会社アジラの登録商標です。

②検知可能な行動一覧

アジェンダ

01 2024年3月期決算の概要

02 2025年3月期の業績見通しと株主還元

03 中期経営計画の概要と進捗

04 **サステナビリティ経営の概要**

ＲＳＣグループのサステナビリティ経営

“人”と”地域との関係性“を重視し、お客さまに信頼されるサービスを提供することにより、企業価値の向上と地域発展に貢献することを念頭にサステナビリティ基本方針を定めました。

サステナビリティ基本方針

RSCは、池袋・丸の内などの日本の都心部を担う大規模複合施設を中心にした総合ビルマネジメント会社です。エリア特化型で、施設警備をコアに　清掃、設備管理、建築工事、人材サービスなど幅広いビルマネジメントサービスをワンストップで提供してまいります。

「安全・安心・快適」な環境を創造する社会インフラとしての役割を果たすべく、R「Reliance(信頼)」S「Service(サービス)」C「Corporation (会社)」の企業名に込められているような、お客様に信頼いただける、ホスピタリティ溢れるサービスを提供していきたいと考えております。そのためにも、そのサービスを提供する「人財」への積極的な投資を行い、人的資本経営を推進してまいります。

RSCは、取引先・従業員・投資家など全てのステークホルダーの皆様と共に、ビルで働く人、訪れる人を中心に関わる人全ての、安全・安心の先にあるウェルビーイングを実現し、持続可能な地域社会の発展に貢献します。

ＲＳＣグループのサステナビリティ経営

『サステナビリティ基本方針』に基づき以下のＲＳＣグループのマテリアリティ（重点課題）について取り組んでまいります。なお、KGI・KPIは今後作成してまいります。

1. お客様からの信頼を礎にした事業活動と法令遵守意識の徹底

基本戦略①④

これまで培ってきたお取引先企業の皆様からの「信頼」を礎にした、安全・安心・快適なサービスを提供すべく、法令遵守の徹底と共に誠実な企業活動に努めます。

2. 人的資本経営とダイバーシティの推進

基本戦略③

グループ事業の根幹となる「人財」への積極的な投資を行い、誰もが持続的に活躍し、ウェルビーイングを実現できる職場環境を目指します。

3. 地域社会への積極的な関わり

事業活動の基盤となる各地域の社会活動に積極的に参加し、地域社会の発展に貢献いたします。

4. DXによるナレッジ蓄積とサービスクオリティの向上

基本戦略②

DXを推進することにより、総合ビルマネジメントのナレッジを蓄積すると共に、サービスクオリティの向上を追求いたします。

5. 地球環境への配慮

基本戦略④

地球環境に配慮した事業活動を行うため、グループだけでなく、サンシャインシティのサステナビリティ活動にも積極的に協力することで、より効果的な活動になることを目指します。

免責事項

- 本資料の作成に当たり、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、作成しております。

- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。